

令和5年12月14日

東部農林水産振興センター出雲農業部

標 題	出雲地域GAP生産者協議会が発足！ ～会員間の交流や販売促進活動等を通じ、個々の経営向上につなげます～
------------	---

(ダイジェスト)

去る10月6日、出雲市内のGAP・美味しまね認証取得者18組織・個人で構成する出雲地域GAP生産者協議会が発足しました。

また、11月18、19日に出雲ドームにて開催された「いずも産業未来博2023」に当協議会として出展し、美味しまね認証製品の販売・PRを行いました。



去る10月6日、出雲合同庁舎にて第1回出雲地域GAP生産者協議会を開催、神田真里会長他会員14名が出席し、本協議会の組織化について確認、組織・運営体制や今年度の活動計画について協議しました。

神田会長は、挨拶の中で「会員どうし自由に意見を出し合い、GAP実践や販売促進、経営向上につながるような活動を1つ1つ行っていきたい」と決意を述べられました。

同日、出雲大同青果株式会社の蔬菜部長をゲストに迎え、「美味しまね認証に期待すること」と題して話題提供いただいた後、意見交換を行いました。

「まずは、会員どうしお互いの経営を理解した上で、課題を洗い出し、解決策を検討していくべき」、「消費者の認知度向上のためには斬新な取組みが必要」、「GAPの目的は経営の合理化、自らの経営をどう改善して高めるのが重要」等、GAPについての認識や期待について多くの率直な意見が出されました。これらの意見を基に、本協議会の今後の活動を組み立てていくこととしています。



11月18、19日には、出雲ドームにて開催された「いずも産業未来博2023」に当協議会として出展し、美味しまね認証製品の販売・PRを行いました。二日間で約1万人を動員した出雲市を代表する大イベントでの好調な売れ行きにうれしい悲鳴をあげた一方で、消費者の美味しまね認証に対する認知度がまだまだ低いことを痛感しました。認知度向上に向けては、これまでになかった斬新なアイデアや工夫、そして粘り強い取組みが必要であると感じました。

当農業部としては、本協議会の活動を事務局として支援しながら、生産者の経営改善につながるような、より有効なGAP実践につながるよう、支援していきたいと考えます。